

78才、ACSの症例で、#7 75%、#8 90%に対し、TRIで6Frガイドカテーテルを用いてPCIを施行した。#7～#8にCypherを2本留置して、確認のIVUSを行った。IVUSを抜こうとしたところ、1本目と2本目のステントがオーバーラップしているあたりでスタックして抜けなくなった。そこでどうするか、ディスカッションが行われた。

グループの中からは、次のような意見が出された。ワイヤーを抜いてからIVUSをひいてみる。もう1本ワイヤーをいれて引いてみる。もう1本ガイディングカテーテルをいれて、ステントをバルーンで再度拡張してからIVUSを抜く。スネアを使って抜く。いろいろなことを試みるのも良いが、より安全な方法をとるべきであると思われた。

またその後にスタックの予防策についてディスカッションが行われた。IVUSを抜く際に先端まで戻してから抜く。回転させながら抜く。ステントをオーバーラップして留置しdistalの拡張が不十分と思われた場合は、少しdistalでもう一度拡張する。以上のような意見が出された。

PCIを行うにあたっては、常にいろいろなトラブルを想定して、それぞれの対応策を知っていることが必要である。また今までにないトラブルが発生した場合は、その原因を分析して、いかに解決するかを考えることが大切であると思った。